閉会の挨拶:京都大学経営管理大学院官民協働まちづくり実践講座 特定教授 要藤正任氏

- ・今回のシンポジウムで得られたキーワードは、「クリエイティブ」、「イノベーション」、「投資」と 「ビジョン」という、四つの言葉だったと思う。
- ・エリアマネジメントは、開発から始まってマネジメントしていこうという一つのかたちと、地域の課題を みんなで解決しようっていう課題解決型の二つのパターンがあると感じている。

その中で、課題解決型でいくと、とりあえず何とか現状を脱しようみたいなところから始まるがクリエイティブ、新しいものを生み出すんだというゴールが先にないと、投資として活動が続いていかないということではないかと感じた。その意味では、今日のインプットトークはたいへん参考になり、エリアマネジメントのモチベーションを考えていくうえでの、一つの大事な示唆をいただいたと思う。

・本日は、リアルでご参加いただいた方、オンラインでご参加くださいました皆様、本当にありがとうございました。